

市長の責任は重い

市長は広い視野 豊かな経験

情熱、実行力、行政への理解
なによりもむさしの愛が必要です

市長22年の土屋正忠氏が語る

365日市民の安全を守る

消防車のサイレンと鐘で夜中に目を覚まします。大火災があると人命に関わるので現場に向かいます。22年間に4〜5回ありました。

市長は**市民の生命をまもる覚悟**が必要です。

小さな声に耳を傾ける力
0123吉祥寺・はらっぱ

子育ては楽しい。だけど仲間がほしいとの声に伝えて！母と子、父と子の0123吉祥寺・はらっぱ施設を全国で初めてつくりました。

同じような子育て中のママと会えて安心、友達になりましたとの感想。大切なのは**市民の声を聴く力!!**

国や都との交渉力
ムーバス・レモンキャブを創設

「私は足が悪くて買い物に困難です。近くにバス停があれば」と一通の手紙。幅4〜6歳の道にバスは通せないか？

運輸省(当時)



時・警視庁・東京都・JR東日本・バス会社などと5年の交渉で、ついに全国初のコミュニティバス・ムーバスが実現しました。

現在年間200万人が利用しています。続いてレモンキャブも。市長には**交渉力が不可欠**。

時には厳しい決断が必要

吉祥寺駅北口広場が23年ぶりに完成。昭和39年から19年経過しても吉祥寺駅北口前のバス停付近の用地27件が買取出来ませんでした。

やむなく土地収用法を適用し、4年で完成。市長は**時に厳しい決断も**。

子どもたちの未来を考える
日本初のセカンドスクール

武蔵野市民の半分が集合住宅。飛び回れない。近くに公園も少ない。そこで自然の中で、のびのびと遊び、米作り体験も行う6泊7日のセカンドスクール実施。AIの時代だからこそ、自然体験が大事。10年の研究・検討で実現。市長は**未来を見ずえる力**が必要です。

市長は**2000人の職員** (市と外郭団体)
1000億円の予算を使い**市民のために働きます**

都議会議員・市議会議員
政治歴22年
保守・中道の実力候補者

あなたの一票で市長に